

第2章 滝川市の現況と都市づくりの課題

1. 滝川市の現況

1-1. 沿革

本市は、昭和 33 年に市制を施行し、当時の人口は 33,533 人（住民登録：昭和 33 年 9 月末）となっていました。昭和 46 年の江部乙町との合併により、人口が 52,153 人（住民基本台帳：昭和 46 年 9 月末）となり、平成 22 年現在では、面積 115.82km²、人口 43,903 人（住民基本台帳：平成 22 年 12 月末）の道央広域連携地域の地域中心都市※となっています。

表 2.1 滝川市の沿革

告示年月日	告示番号	内容	効力発生日
明治 23 年 2 月 15 日	北海道庁令第 1 号	滝川村開設	明治 23 年 1 月 15 日
明治 39 年 2 月 22 日	内務省令第 1 号	二級町村制施行	明治 39 年 4 月 1 日
明治 42 年 3 月 17 日	内務省告示第 321 号	一級町村制施行	明治 42 年 4 月 1 日
明治 42 年 6 月 5 日	北海道庁告示第 101 号	江部乙村設置	明治 42 年 4 月 1 日
明治 43 年 11 月 3 日	北海道庁告示第 784 号	滝川町制施行	明治 43 年 11 月 3 日
昭和 33 年 6 月 9 日	北海道告示第 807 号	滝川市制施行	昭和 33 年 7 月 1 日
昭和 46 年 3 月 23 日	自治省告示第 51 号	江部乙町との合併	昭和 46 年 4 月 1 日

1-2. 位置

本市は、北海道のほぼ中央の空知管内の中心部に位置しており、北海道の大動脈といもいえる JR 函館本線及び国道 12 号が縦貫し、JR 根室本線及び国道 38 号、国道 451 号がこれから分岐し、道央と道東・道北を結ぶ交通の要衝となっています。また、石狩川と空知川に挟まれた平野部に広がっており、土地はおおむね平坦で、ゆるやかな丘陵地帯となっています。

本市は東西 16.9km、南北 15.8km で、東は空知川を挟み、赤平市、南は砂川市に隣接し、西は石狩川を挟み、新十津川町に隣接し、北は深川市、妹背牛町、雨竜町に囲まれています。

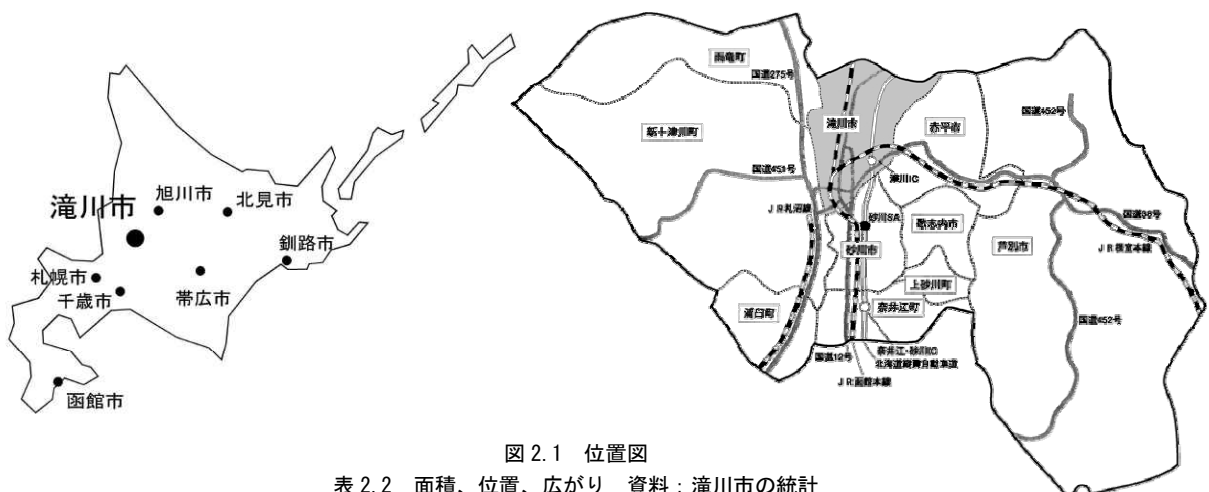


図 2.1 位置図

表 2.2 面積、位置、広がり 資料：滝川市の統計

面積	位置		広がり	
	経度(東経)	緯度(北緯)	東西	南北
	東端 142° 05' 08"	南端 43° 31' 46"	16.9km	15.8km
115.82km ²	西端 141° 52' 38"	北端 43° 40' 20"		

※地域中心都市：新・北海道総合計画で位置づけられ、空知地域の地域中心都市は、滝川市、砂川市、深川市となっている。